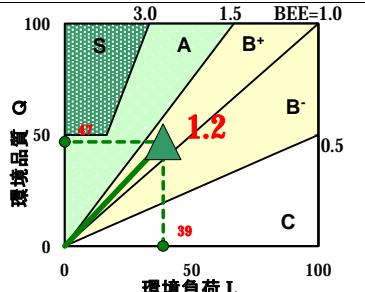
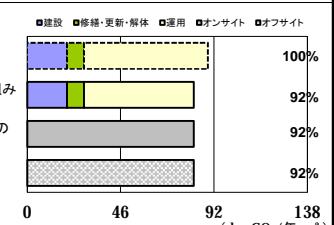
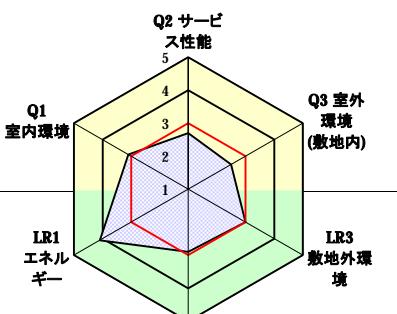
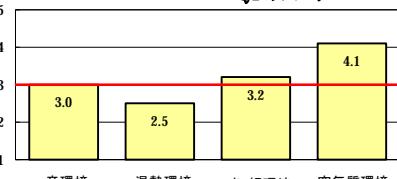
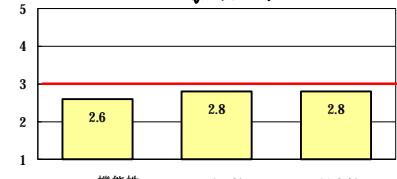
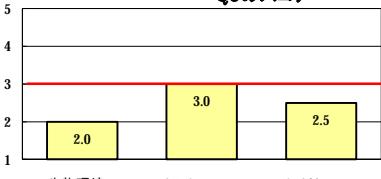


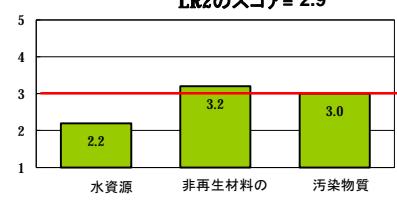
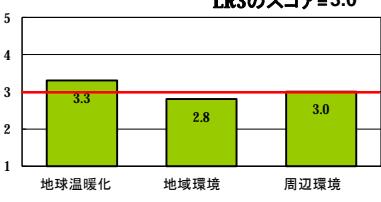
CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田市西御旅町II新築工事	階数	地上6F
建設地	大阪府吹田市西御旅町	構造	RC造
用途地域	工業地域、準防火地域	平均居住人員	125人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年12月 予定	評価の実施日	2025年9月30日
敷地面積	1,624 m ²	作成者	松永 康宏
建築面積	778 m ²	確認日	2025年12月17日
延床面積	4,407 m ²	確認者	山岸 忍

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.2 </p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B: ★★ C: ★</p> 	<p></p> <p>30% ★★★★★ 60% ★★★★ 80% ★★★ 100% ★★ 100%超: ★</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p>  <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したもので</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)
Q 環境品質
Q1 室内環境
Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能
Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境 (敷地内)
Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性
LR1 エネルギー
LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル
LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境
LR3のスコア = 3.0


3 設計上の配慮事項

総合
利用者に配慮し、F★★★★★を使用している。
主要給排水配管は耐用年数が長い材料を使用している。

ライフサイクルCO₂排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。

その他

特になし。

Q1 室内環境 1.5% ≤ [星光率] < 2.0% 居室面積の1/6以上の開閉可能な窓を確保している。	Q2 サービス性能 電気配線は空配管内に設置されます。 通信配線は空配管内に設置されます。	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー 日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当である。 BEI=0.84	LR2 資源・マテリアル 基礎・基礎梁: 高炉セメントB種を使用している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率92%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフケイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存 2024V1.4

【建物概要】 建物名称		(仮称)吹田市西御旅町Ⅱ新築工事				
建設地		大阪府吹田市西御旅町				
用途／区分		集合住宅				
【評価結果】	CASBEE 総合評価				B+	
①	CO2削減				3	
②	みどり・ヒート アイランド対策				3	
③	断熱性能				4	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分			4	
④	エネルギー消費性能				5	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分			1	
⑤	自然エネルギー直接利用					
	再生可能エネルギー	太陽光発電	—	風力	—	地熱
	利用施設の導入状況	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス
エネルギー消費量の報告						対象外
【評価項目】						
項目	評価内容					スコア
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮					3.3
② みどり・ヒートアイランド対策						3
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出				2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環 2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制				4.0	4
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化				5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用				2.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	—
その他						
先進的技術の導入			技術の名称		考慮事項	
特に配慮した事項						